

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月31日

計画の名称	多様な交通の連携が図られた利便性の高い地域交通拠点の形成											
計画の期間	令和07年度 ~ 令和08年度 (2年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	大府市											
計画の目標	全国的に人口減少が進む中、大府市は継続的な人口増加を遂げており、今後も緩やかな人口増加が予想される一方、少子高齢化は進展しており、将来を見据えた持続可能な都市構造の構築が求められている。 このような中、本地区は第4次大府市都市計画マスタープランにおいて都市拠点として位置づけられており、市の玄関口にふさわしい賑わいと魅力あるを備えた都市空間を形成するため、多様な都市機能の充実や、交通結節点の機能強化を図ることとしている。このため、鉄道駅周辺における公共施設の整備によって、交通ネットワークの安全性、利便性を向上させるとともに、賑わいあふれる安心・安全で快適な魅力ある都市環境の形成を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	623	A	623	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6		R8
1	「バスや鉄道などの公共交通の整備」の満足度を37%から45%に向上させる。 「バスや鉄道などの公共交通の整備」の満足度(市民意識調査における「満足」「おおむね満足」の回答率)を2割以上向上させる。 $37(令和6年度時点の満足度) \times 1.2(2割増) = 45$	37%	%	45%
2	JR共和駅の乗降客数を、18,068から18,690人に増加させる。 JR共和駅の乗降客数を、18,690人に増加させる。 $18,068(令和6時点乗降客数) + \frac{19,000(地域公共交通計画の目標値) - 18,068}{6(地域公共交通計画の目標値までの期間年数)} \times 4(経過年数)$	18068人/日	人/日	18690人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	大府市	直接	大府市	-	-	共和駅東 自転車駐車場整備事業	自転車駐車場整備 A = 2,800m ²	大府市						468	1.84	-
	A13-002	都市交通	一般	大府市	直接	大府市	-	-	共和駅東 駅前広場整備事業	駅前広場整備 A = 2,090m ²	大府市						155	1.84	-
											小計						623		
											合計						623		

(参考図面)

